

株式会社アーレスティ

2013年3月期 第1四半期 決算説明資料

2012年8月6日

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

ご説明内容

- ◆ TOPICS
- ◆ 2013年3月期第1四半期決算概況及び今期見通しについて

■2012年

3月 アーレスティメヒカーナ工場拡張工事(竣工秋頃)着工

4月 合肥アーレスティ加工工場完成

5月 広州アーレスティ隣接地への工場建設着工

10月頃 合肥アーレスティ拡張工事着工(竣工2013年5月頃)予定

12月頃 合肥アーレスティ隣接預留地20,000㎡を取得予定

合肥アーレスティの増築

合肥阿雷斯提汽车配件有限公司

2010年 8月 合肥アーレスティ設立

2011年 7月 稼動開始

2011年10月 第2期工事(加工工場)着工

2012年 4月 加工工場完成

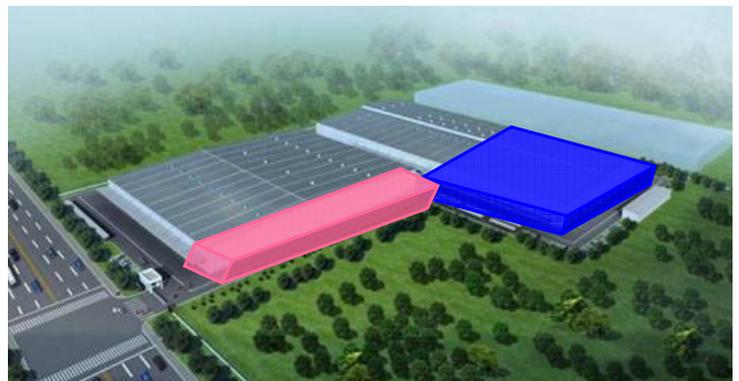
2012年10月頃 第3期工事着工予定

2013年 5月頃 // 竣工予定

(工場面積) ※2012年8月現在

土地 30,000㎡

建屋面積 14,000㎡



第3期工事 鑄造工場 4,800㎡ 加工工場 3,000㎡

2012年末までに隣接の預留地30,000㎡のうち、20,000㎡を取得予定

広州アーレスティ新工場建設

広州阿雷斯提汽车配件有限公司

2011年に取得した隣接地へ 新工場を建設

(新工場建設)

2012年5月新工場建設着工

2013年3月竣工予定

(工場面積)

■第1工場

土地 43,000㎡ 建屋 26,300㎡

■第2工場

土地 17,700㎡ 建屋 10,400㎡

■新工場

土地 21,100㎡ 建屋 16,000㎡(第1期)

(鑄造能力) 月産 2600t (DCマシン 31台)

※2012年末時点



広州アーレスティ隣接地の新工場完成予想図



地鎮祭の様子(2012年5月)

アーレスティメヒカーナ工場拡張

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.

鑄造工場、加工工場を拡張

2012年3月着工

秋頃竣工予定

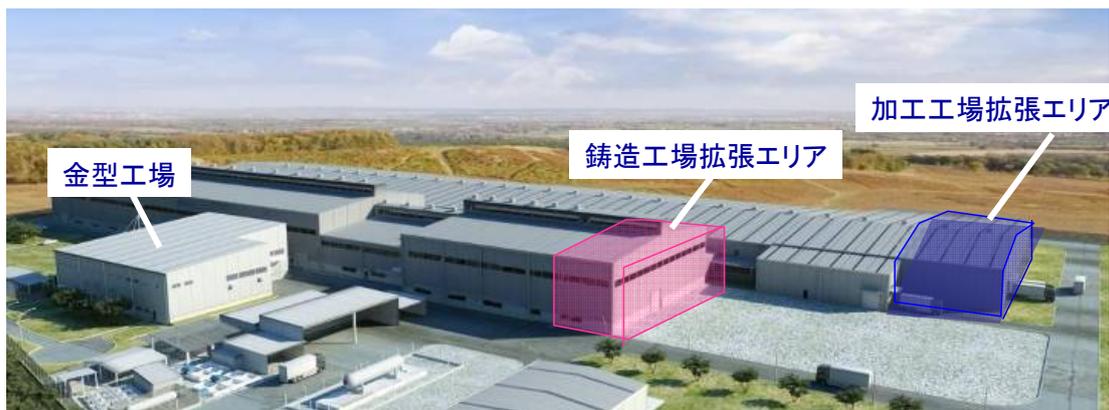
(工場面積) 土地 100,000㎡ 建屋 28,000㎡

(鑄造能力) 月産 1700t(DCマシン 17台)

(増築面積) 2,600㎡

(増強能力) 月産400t(DCマシン 4台)

※2013年初めにかけて



アーレスティメヒカーナ拡張工事完成予想図

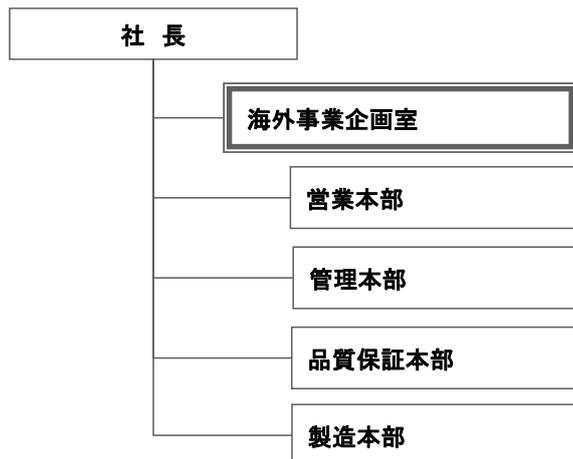
組織の変更

2012年1月1日付 技術本部を廃止し、技術部門を製造本部下へ配置

組織の見直しを行い、技術本部を発展的に解消し製造本部下の生産技術部に設計部門を配し、技術部も製造本部下とし設計・技術をもの造り部門に集約し効率的に品質と生産性を追求できる組織としました。

2012年6月1日付 海外事業企画室の新設

自動車の海外生産は、急激に増加することが予想され、これら需要増への対応には既存海外生産拠点の拡充だけでなく、新規海外生産拠点での対応も必要と考えられ、これにタイムリーに対応するため「海外事業企画室」を新設しました。



第1四半期決算概況 及び今期見通しについて



2013年3月期決算のポイント

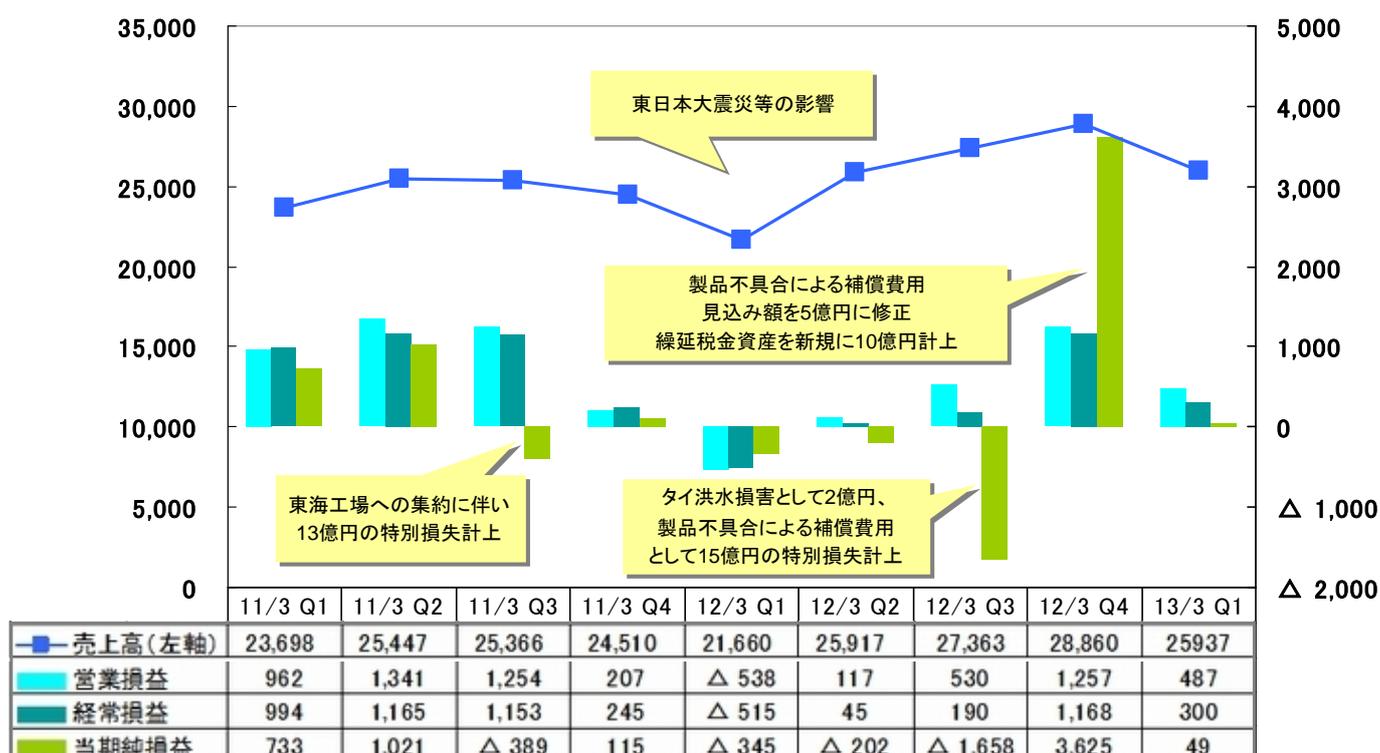
(単位:百万円)

	2012年3月期 第1四半期	2012年3月期 第4四半期	2013年3月期 第1四半期	前年 同四半期比
売上高	21,660 100%	28,860 100%	25,937 100%	+19.7%
営業利益	△ 538 -	1,257 4.4%	487 1.9%	-
経常利益	△ 515 -	1,168 4.0%	300 1.2%	-
当期純利益	△ 345 -	3,625 12.6%	49 0.2%	-
EPS	△ 16.06	-	2.31	-

- ◆ 売上高: 東日本大震災およびタイ洪水の影響からの回復、国内エコカー補助金影響等により、売上高は259億円(前年同四半期比19.7%増)となった。
- ◆ 営業利益: メキシコの増産対応遅れ挽回費用の解消するも、インドおよび中国合肥への先行投資による固定費増影響等により営業利益は4億8千万円に留まった。
- ◆ 前年同四半期比では増収増益となった。

連結決算概要(四半期別)

単位:百万円



今期見通し

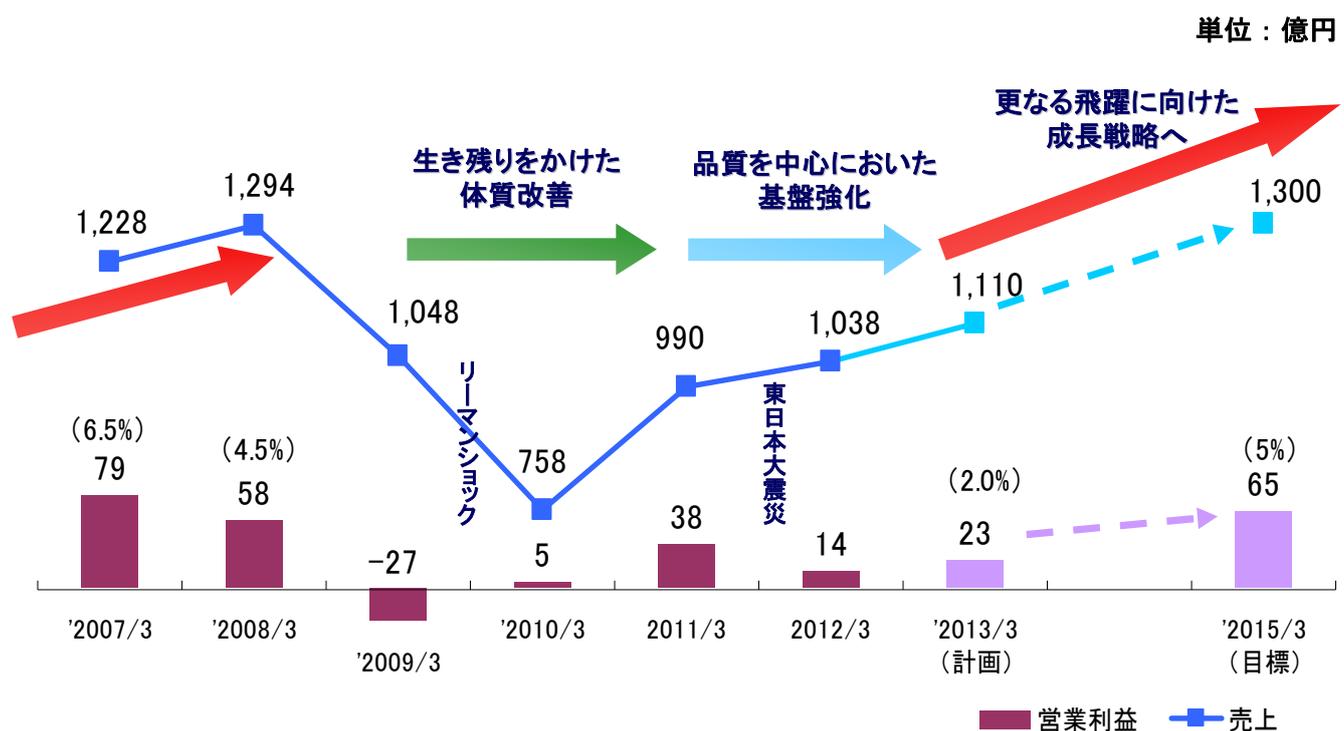
(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 当初計画(5/14)	2013年3月期 今回計画(8/6)	対当初計画 増減	対当初計画 増減率
売上高	103,800	112,500	111,000	△ 1,500	△ 1.3%
ダイカスト日本	65,114	63,500	64,800	1,300	2.0%
ダイカスト北米	18,761	21,500	21,200	△ 300	△ 1.4%
ダイカストアジア	13,723	21,000	19,300	△ 1,700	△ 8.1%
アルミニウム	3,744	4,000	3,800	△ 200	△ 5.0%
完成品	2,455	2,500	1,900	△ 600	△ 24.0%
営業利益	1,366	3,750	2,250	△ 1,500	△ 40.0%
ダイカスト日本	1,463	1,900	1,450	△ 450	△ 23.7%
ダイカスト北米	314	1,250	800	△ 450	△ 36.0%
ダイカストアジア	△ 504	450	△ 150	△ 600	△ 133.3%
アルミニウム	△ 42	100	100	0	-
完成品	72	50	50	0	-
消去または全社	62	0	0	0	-
経常利益	888	3,350	1,600	△ 1,750	△ 52.2%
当期純利益	1,420	2,400	800	△ 1,600	△ 66.7%



11

今後の方向性



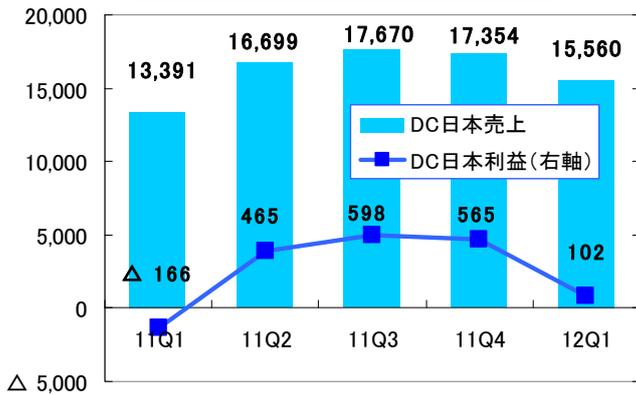
※2013/3月期の計画修正は行ったものの、生産性改善を確実に実施することにより、収益性の挽回を図り、2015/3月期の目標を維持。



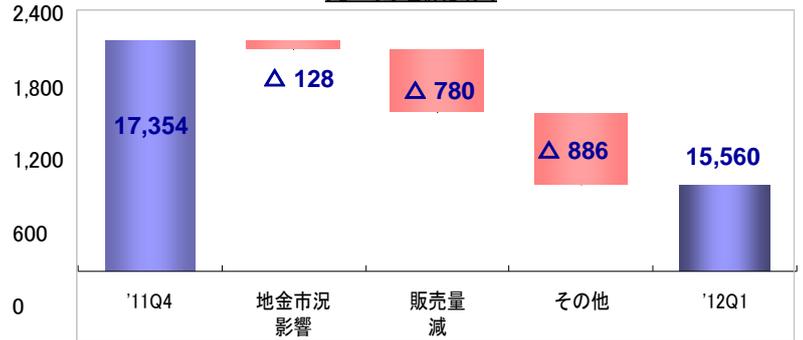
12

決算概要 ダイカスト日本(Q4→Q1)

ダイカスト日本売上高／営業利益の推移



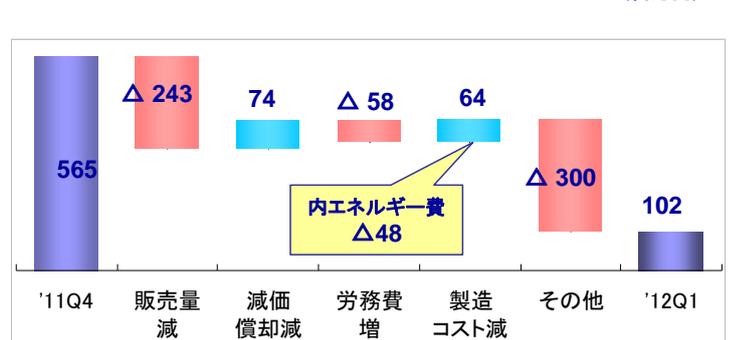
売上高増減要因



直前四半期との比較では、販売重量の減少及び製品ミックス等の影響により、セグメント売上高は10.3%減。

セグメント利益は、売上減を見越し、原価低減活動を推し進めたものの、付加価値減少を吸収するには及ばず1億円に留まった。

セグメント損益増減要因



今期見通し(ダイカスト日本)

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 当初計画(5/14)	2013年3月期 今回計画(8/6)	対当初計画 増減	対当初計画 増減率
売上高	103,800	112,500	111,000	△ 1,500	△ 1.3%
ダイカスト日本	65,114	63,500	64,800	1,300	2.0%
営業利益	1,366	3,750	2,250	△ 1,500	△ 40.0%
ダイカスト日本	1,463	1,900	1,450	△ 450	△ 23.7%

売上高

エコカー補助金等の効果により、当初計画よりも上期の販売量(重量)が増加(3.7%)し上期売上高は8億円増。下期の販売量は当初計画よりも減少(1.1%)するも製品ミックスの変化により下期売上高は5億円増。通期では13億円増。

(単位:百万円)

営業利益

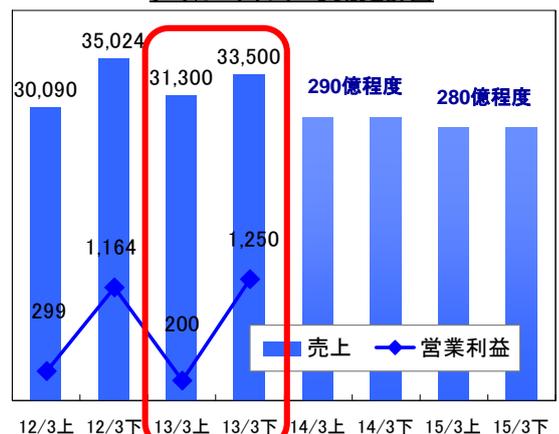
11年度下期の水準に比べて販売量は減少しているものの、売上高は当初予想を上回る見込みであり、高負荷に伴うロス等に対する改善の遅れにより減益となる見通し。主な下方修正の要因は一部子会社における収益改善計画の進捗遅れに伴うもの。2Q以降の改善計画の見直しを実施し推進中。

また、東海工場では、集約に伴う一時的な費用が当初予想よりも先行することにより上期では減益となる見通しだが、通期で当初予想通りとなる見込み。なお、東海工場の集約については、来春の完了予定で計画通り進めている。

来期以降

今期の当初計画に対する収益性改善の遅れは、修正計画に基づく生産性改善(統合効果含む)により来期で挽回し、売上高が減少していく中で収益性を改善し、一定の利益を確保する。

ダイカスト日本 実績と計画

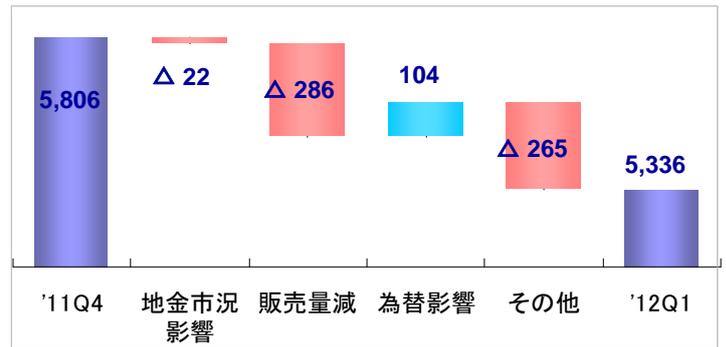


決算概要 ダイカスト北米(Q4→Q1)

ダイカスト北米売上高／営業利益の推移



売上高増減要因



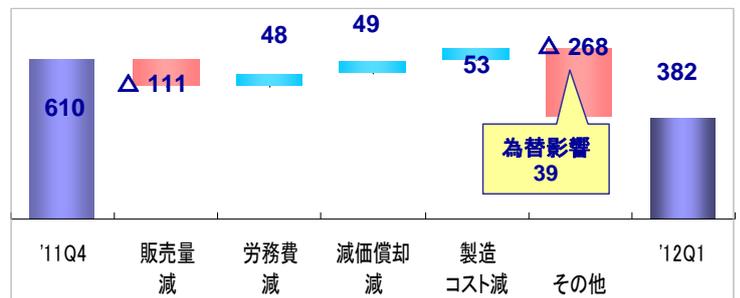
アメリカ:売上高はほぼ横ばいで、一定の利益水準を維持。

メキシコ:主に受注製品の機種変更に伴う数量減により売上高は減少。利益面では、原価低減活動を推し進めたものの、売上減少の影響を吸収するに至らず。

※アメリカ 4-3月
メキシコ1-12月

平均レート(Q4→Q1)
米\$ 79.23→80.39
メシコ(米\$)77.06→79.23

セグメント損益増減要因



今期見通し(ダイカスト北米)

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 当初計画(5/14)	2013年3月期 今回計画(8/6)	対当初計画 増減	対当初計画 増減率
売上高	103,800	112,500	111,000	△ 1,500	△ 1.3%
ダイカスト北米	18,761	21,500	21,200	△ 300	△ 1.4%
営業利益	1,366	3,750	2,250	△ 1,500	△ 40.0%
ダイカスト北米	314	1,250	800	△ 450	△ 36.0%

売上高

主に、一部顧客の減産の影響を受けメキシコでの上期の売上高が当初計画よりも減少することから、北米では通期の売上高は3億円の減少。

営業利益

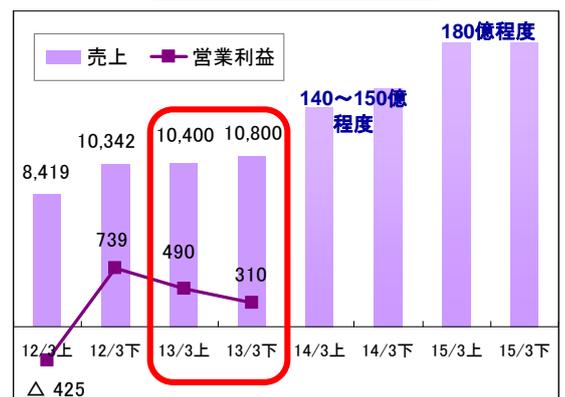
アメリカは、ほぼ当初計画どおりで進捗する見込み。
メキシコは、前期の生産対応の遅れによる費用発生が解消。しかしながら、製品ミックスによる付加価値の減少に対応した収益改善計画の進捗の遅れ、及び売上高の減少の影響から当初予想よりも減益。アメリカをベンチマークとした収益改善計画の見直しを行い挽回を図る。

来期以降

売上高の伸びによる効果及びメキシコの収益改善計画の遅れを挽回することにより、収益性を改善していく。

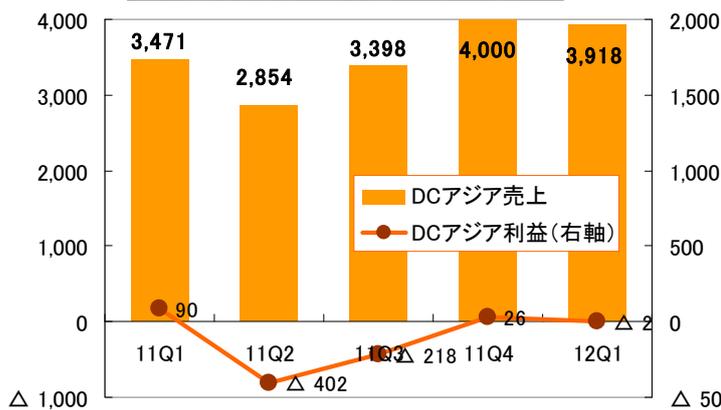
ダイカスト北米 実績と計画

(単位:百万円)



決算概要 ダイカストアジア(Q4→Q1)

ダイカストアジア売上高／営業利益の推移



中国:稼働日数の違いによる販売量の減少により売上高は微減。収益面では、合肥工場の立上げに伴う費用増があったものの、広州工場の原価低減の効果により改善。

インド:売上高は横ばいで、先行投資による減価償却費増、エネルギー費増の影響で減益。

※中国1-12月
インド4-3月

平均レート(Q4→Q1)
人民元 12.15→12.57
インドルピー 1.58→1.49

売上高増減要因

(百万円)



セグメント損益増減要因

(百万円)



今期見通し(ダイカストアジア)

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 当初計画(5/14)	2013年3月期 今回計画(8/6)	対当初計画 増減	対当初計画 増減率
売上高	103,800	112,500	111,000	△ 1,500	△ 1.3%
ダイカストアジア	13,723	21,000	19,300	△ 1,700	△ 8.1%
営業利益	1,366	3,750	2,250	△ 1,500	△ 40.0%
ダイカストアジア	△ 504	450	△ 150	△ 600	△ 133.3%

売上高

中国及びインドの売上高は、前期比で各々1.4倍、1.6倍と大幅に増加する見込みであるものの、主に中国及びインド市場の伸びの鈍化(広州でのナンバー規制、マルチスズキの7月中旬から1ヶ月程度の生産停止の影響含む)の影響により、アジアの売上高は当初計画よりも17億円の減少。

営業利益

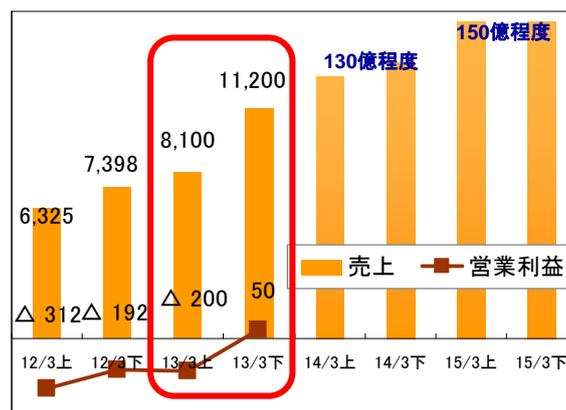
主に、当初予想より売上高が減少することに伴う固定費負担の増加により、当初予想よりも減益。

来期以降

売上高の伸びによる効果及び生産性改善により収益性を高めていく。

ダイカストアジア 実績と計画

(単位:百万円)



決算概要 アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2012年3月期 第1四半期	2012年3月期 第4四半期	2013年3月期 第1四半期	前年同四半期 比
アルミニウム 事業	売上	801 100%	867 100%	925 100%	+15.5%
	営業利益	△ 32 -	△ 24 -	20 2.2%	-
完成品事業	売上	353 100%	831 100%	195 100%	△44.7%
	営業利益	△ 6 -	34 4.1%	△ 34 -	-

アルミニウム事業：市況は低迷しており単価は抑えられているものの、二次合金地金の出荷量が前年同四半期比で34.5%増となったことにより、売上高は前年同四半期比15.5%増。利益は、受注増加や、使用原材料を含む原価低減活動により、2千万円となった。

完成品事業：主要販売先である半導体関連企業や通信会社のデータセンター向け物件等の設備投資が低調なことにより受注が減少し、売上高は前年同四半期比44.7%減。損益は、受注減少の影響等により3千4百万円の赤字となった。



19

決算概要 貸借対照表

(単位：百万円)

	2012年3月期	2013年3月期 第1四半期	増減	
流動資産	44,486	41,782	△ 2,704	◆ 海外での拡大投資のため、有形固定資産が増加。
現預金	7,358	4,668	△ 2,690	
売上債権	24,541	23,120	△ 1,421	
棚卸資産	8,636	10,000	1,364	
固定資産	60,721	61,613	892	
有形固定資産	54,135	55,544	1,409	
資産合計	105,208	103,395	△ 1,813	
負債合計	69,794	67,766	△ 2,028	
買入債務	18,653	17,251	△ 1,402	
長短借入金	33,348	32,492	△ 856	
純資産合計	35,414	35,629	215	



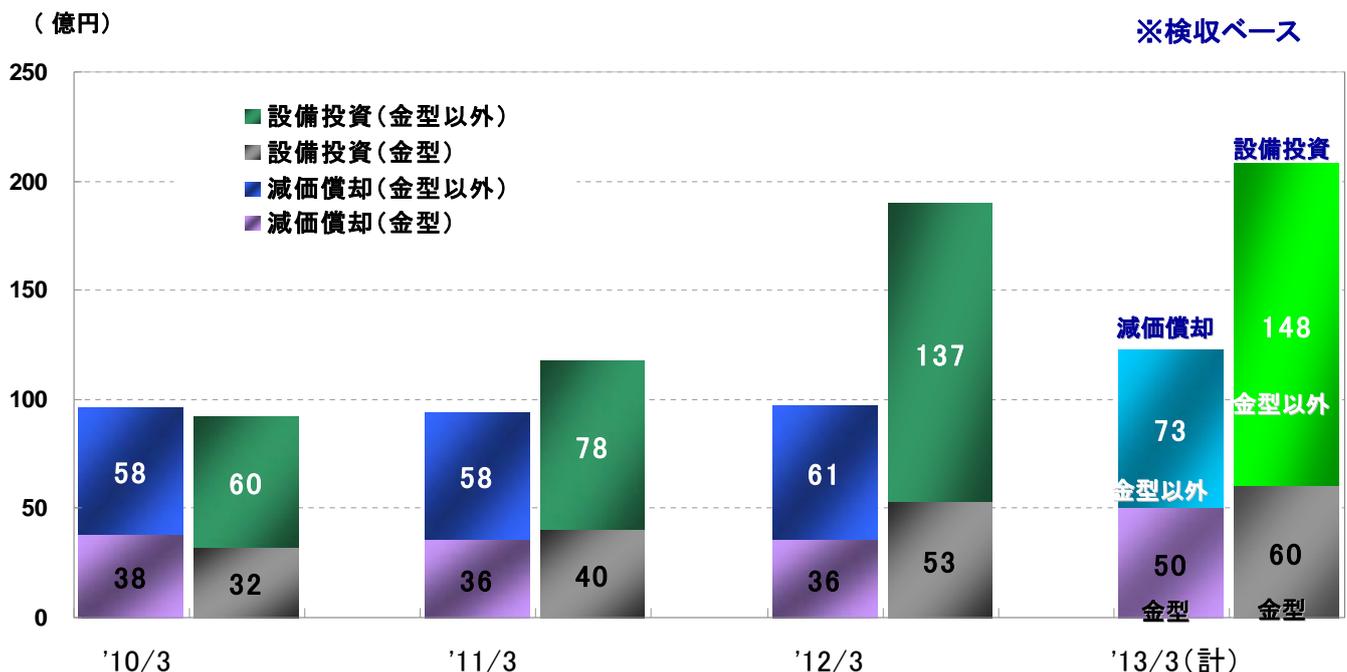
20

配当の状況

(単位:円)	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期 予想(8/6)
1株当たり配当金					
(年間)	11	5	12	6	12
中間配当	11	-	6	3	6
期末配当	-	5	6	3	6
一株当たり純損益(連結)	△ 313.8	△ 2.8	68.8	65.9	37.1
配当性向(連結)	-	-	17.4%	9.1%	32.3%

- ◆ 配当性向には配慮しつつも、今後の成長を勘案した経営資源の配分を推進

設備投資・減価償却の動向



※現在のところ、5/14発表の当初計画どおりに推進予定

株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-5332-6004

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.co.jp

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。